

令和 8 年 5 月 15 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

県内における麻疹患者の発生について

令和 8 年 5 月 14 日、北九州市保健所管内において麻疹患者が発生したことを受け、別添のとおり北九州市より情報提供がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知の上、貴会会員に対し下記についてご留意いただき、麻疹の発生予防及び感染拡大防止にご協力いただくよう、周知方よろしくお願いいたします。

なお、詳細については、本会ホームページにも掲載しておりますので、併せてご参照ください。

記

1 麻疹患者の診療に係る留意事項

- 麻疹は発症前日から発疹出現後 4・5 日頃まで感染力があるとされています。特に予防接種を受けていない接触者は感染のリスクが高くなります。潜伏期間は 10-12 日とされていますが、麻疹ワクチンを受けた後に発症する修飾麻疹では、潜伏期間が延びることが知られています。
- 麻疹に特徴的な症状が現れた方は、事前に医療機関に電話で連絡することとなっております。
- 発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻疹の予防接種歴の確認を行うなど、麻疹の発生を意識した診療をお願いします。
- 麻疹患者（疑い含む。）の診療にあたっては、個室管理を行うなどの院内感染対策を実施してください。
- 麻疹患者を診断した場合は、臨床診断例や検査診断例にかかわらず感染症法第 12 条第 1 項の規定に基づき最寄りの保健所へ、直ちに届けてください。なお、保健所から遺伝子検査のために検体提出を求められることがあります。
- 麻疹の定期予防接種（第 1 期：1 歳児、第 2 期：小学校就学前の 1 年間）の対象で、未接種の方には、予防接種の勧奨にご協力いただきますようお願いいたします。なお、令和 7 年 3 月 26 日付文書福県医発第 3367 号（地）にてご連絡のとおり接種対象期間が令和 8 年度末まで延長されておりますことを申し添えます。

2 本会ホームページ

ホーム画面「重要なお知らせ」

URL : <https://www.fukuoka.med.or.jp/>



報道機関各位

(報道発表資料)
令和8年5月14日
北九州市保健所保健企画課
(担当:吉野、河崎)
電話:093-522-5721

麻しんの発生について

市内において、麻しん(5類感染症)の発生届がありましたので、北九州市感染症公表要領に基づきお知らせいたします。

- 概要** 令和8年5月13日(水)、麻しんの届出があった。
- 患者情報** 若松区在住、30代、女性、予防接種歴不明、海外渡航歴なし
- 経過**
 - 5月7日(木) 発熱(38度台)、咳、鼻汁、咽頭痛出現。
 - 5月11日(月) A医療機関を受診。結膜充血出現。発熱(39度台)あり。
 - 5月12日(火) 全身に発疹出現。
 - 5月13日(水) B医療機関を紹介受診。
 - 5月14日(木) 北九州市保健環境研究所にて遺伝子検査を実施。遺伝子検査で麻しん陽性が判明。
- 現在の状況** 自宅療養中
- 感染原因** 不明
- 行政対応** 患者等に対する健康調査の実施と感染拡大防止の指導を実施。調査の結果、患者が不特定多数の方と接触した可能性が確認された場合には、改めて施設等を公表します。

7 北九州市の麻しんの届出状況(単位:人)

(令和8年5月14日現在)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
発生届出数 (単位:人)	0	7	1	0	0	0	0	0	1※

(※本件を含む)

8 全国の麻しんの届出状況(単位:人)

(令和8年5月10日時点の速報値)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
発生届出数 (単位:人)	279	744	10	6	6	28	45	265	479

9 その他

- ・患者の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内にさせていただきます。ご理解の上、特段のご配慮をお願いいたします。
- ・本市においては、別添「《麻しんについて》、《注意！麻しん(はしか)感染拡大しています》」について市民の皆様呼びかけています。報道各位におかれても、この内容の周知にご協力いただきますようお願いいたします。

10 麻しんについて

別添 1、別添2参照

《麻疹(はしか)について》

➤ 麻疹とは

麻疹(はしか)は、麻疹ウイルスによる感染症です。感染力がきわめて強く、麻疹の免疫がない集団に1人の発症者がいたとすると、12~18人の人が感染すると言われております(インフルエンザでは1~2人)。ほぼ100%の人に症状が現れますが、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われております。

➤ 症状

麻疹ウイルスに感染して10~12日後に、発熱や咳などの症状が現れます。38℃前後の発熱が2~4日間続き、倦怠感、上気道炎症状(咳、鼻水、くしゃみなど)、結膜炎症状(結膜充血、目やに、光をまぶしく感じるなど)が現れて次第に強くなります。

発疹が現れる1~2日前ごろに口の中の粘膜に1mm程度の白い小さな斑点(コプリック斑)が出現します。コプリック斑は麻疹に特徴的な症状ですが、発疹出現後2日目を過ぎるころまでに消えてしまいます。

コプリック斑出現後、体温は一旦下がりますが、再び高熱が出るとともに、赤い発疹が出現し全身に広がります。発疹出現後3~4日で回復に向かい、合併症がない限り7~10日後には主症状は回復しますが、免疫力が低下するため、しばらくは他の感染症に罹ると重症になりやすく、体力などが戻るのに1か月くらいかかることも珍しくありません。

麻疹に伴って肺炎、中耳炎、脳炎などさまざまな合併症がみられることがあります。特に脳炎は、頻度は低い(1000人に1人)ものの死亡することがあり、注意が必要です。

※修飾麻疹について

麻疹含有ワクチンを1回接種している場合など、麻疹に対する免疫が不十分である人が麻疹に感染し、軽症・非典型的な症状が出た場合を「修飾麻疹」と言います。発熱期間が短い、微熱、咳、鼻水、結膜炎などが無いなど症状は通常の麻疹より軽症で、感染力も典型的な麻疹と比較すると低いとされていますが、感染を広げる可能性はあります。

➤ 感染防止のポイント

麻疹は、空気感染を起こし感染力がきわめて強いことから、手洗いや一般的な(布・不織布などの)マスクのみでの予防は十分ではありませんが、予防接種(ワクチン接種)を2回行うことによって、95%以上の方が免疫を獲得し、予防することができます。

予防接種は、自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも有効です。

医療・教育関係者や、海外渡航を計画されている方は、麻疹の罹患歴や予防接種歴を確認し、明らかでない場合は予防接種を検討してください。

麻疹の予防接種歴がない方で、発熱、咳、鼻水、眼球結膜の充血等 麻疹に特徴的な症状が現れた方は、事前に医療機関に電話で連絡し、指示に従って受診してください。

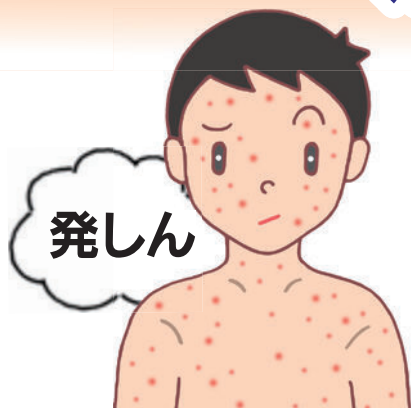
その際、症状出現日の10~12日前(感染したと推定される日)の行動(海外の流行地や人が多く集まる場所へ行ったかどうか等)について、医療機関にお伝えください。

注意!

感染力が極めて高い

麻疹(はしか)

感染拡大しています



症状

感染約 10 日後に発熱や咳などの風邪症状が現れ、2~3日熱が続いた後、**39 度以上の高熱と発しん**が出現します。

感染経路

空気感染等によりヒトからヒトへの**感染力は非常に強い**です。発症日の1日前から解熱後3日間まで感染力があります。



皆様へのお願い

- ・麻疹を疑う**症状がある場合**、**外出を控え**、受診する際には**事前に医療機関に電話**し、なるべく**公共交通機関の利用を避けて**ください。
- ・麻疹の感染拡大防止のため、接触者等への**行政による調査にご協力**ください。
- ・お子様が**1歳または就学前1年間**にある場合、積極的に早期の接種をご検討ください。
- ・定期接種の**接種歴を確認**いただき、**2回のワクチン接種の検討***をお願いします。
※今回の流行の中心である10~40代の方は特にご検討ください。
- ・妊娠中に感染すると早産や流産のリスクがあるため、**妊娠前の接種を検討**ください。
- ・**免疫不全のある方**は、主治医の方と相談の上、**接種を検討**ください。
- ・**乳幼児**は、肺炎や脳炎を起こすリスクがあるため、**家族の接種歴を確認**ください。

詳しくは、厚生労働省WEBページをご覧ください

 **厚生労働省**

感染症対策課 2026年4月 作成

